



の健康長寿県構想

県民の誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるために

第3期（H28～H31）Ver.4

平成31年2月15日 高知県



第3期「日本一の健康長寿県構想」バージョン4

高知県が目指す姿は、

「県民の誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることのできる高知県」です。

目指す姿の実現に向けて、

本県では、平成22年2月に、保健・医療・福祉の各分野の課題の解決に真正面から取り組むため、「**日本一の健康長寿県構想**」を策定しました。

平成24年2月には、第2期構想を策定し、もう一段の高みを目指して取り組んだ結果、壮年期死亡率の改善や医師不足に改善の兆しがみられる、また高知型福祉の拠点となるあったかふれあいセンターの整備が進むなど、各分野で一定の成果が出てきています。

また、平成28年2月には、第2期構想までに得られた成果と課題を分析し、次に掲げる視点を盛り込んだ「第3期構想」を策定しました。

■■第3期「日本一の健康長寿県構想」の視点■■

◆本県が抱える根本的な課題を解決するために、第3期構想では新たに5つの柱を設定して、より本格的な対策を推進します。

「5つの柱」とは

- ① 全国に比べて高い壮年期世代の死亡率を改善します！
- ② 必要な医療・介護サービスを受けられ、地域地域で安心して住み続けることのできる県づくりを進めます！
- ③ 厳しい環境にある子どもたちの進学や就職などの希望を叶え、次代を担う子どもたちを守り育てる環境づくりを進めます！
- ④ 少子化対策推進県民会議を中心とする官民協働の県民運動へと少子化対策を抜本強化します！
- ⑤ 医療や介護などのサービス提供を担う人材の安定確保と産業化を推進します！

◆4年後（平成31年度末）、10年後（平成37年度末）の目指す姿を明らかにし、県民と成功イメージを共有します。

◆県民ニーズへの対応やPDCAサイクルによる検証を通じて、個々の取り組みを毎年度バージョンアップします。

平成31年度は第3期構想の最終年度であり、

その目標達成と次のステージに向けて、もう一段、施策の充実・強化を図った**第3期「バージョン4」**へ改定しました。

引き続き、

「高知家」の家族が、住み慣れた地域地域でいつまでも安心して暮らし続けることができるよう、本構想に掲げる取り組みを着実に進めていきます。



目 次

- 1 目指す「平成37年度末の姿」(全体像) 【1】
- 2 5つの柱の概要 【2】
- 3 高知県の現状 【7】
- 4 具体的な施策

I 壮年期の死亡率の改善

(1) 健康教育の推進

- ・学校等における健康教育・環境づくり【20】
- ・子どもの頃からの歯と口の健康づくり【21】

(2) 「ヘルシー・高知家・プロジェクト」の推進

- ・健康づくりの県民運動「ヘルシー・高知家・プロジェクト」【22】
- ・高知家健康づくり支援薬局による県民の健康づくり 【24】
- ・たばこ・高血圧対策の推進【25】

(3) がん予防の推進

- ・がん検診の受診促進【26】
- ・ウイルス性肝炎対策の推進【27】

(4) 血管病(脳血管疾患、心疾患、糖尿病)対策の推進

- ・特定健診受診率・特定保健指導実施率の向上対策の推進【28】
- ・血管病の重症化予防対策の推進【29】
- ・歯周病予防による全身疾患対策の推進【30】

II 地域地域で安心して住み続けられる県づくり～「高知版地域包括ケアシステム」の構築～

(1) 日々の暮らしを支える高知型福祉の仕組みづくり

- ・あったかふれあいセンターの整備と機能強化【34】
- ・介護予防と生活支援サービスの充実【35】
- ・認知症の早期の発見・診断・対応につながる体制の整備【36】
- ・障害の特性等に応じて安心して働ける体制の整備 【37】
- ・ひきこもり等就労支援の推進【38】
- ・障害児を社会全体で見守り育てる地域づくり【39】
- ・高知県自殺対策行動計画の推進【40】
- ・依存症対策の推進【41】

(2) 病気になっても安心な地域での医療体制づくり

- ・地域医療構想の推進【42】
- ・救急医療の確保・充実【44】
- ・在宅医療の推進【45】
- ・訪問看護サービスの充実【46】
- ・「高知家お薬プロジェクト」による在宅患者への服薬支援【47】
- ・医薬品の適正使用等の推進【48】
- ・在宅歯科医療の推進【49】
- ・へき地医療の確保【50】
- ・医師の育成支援・人材確保施策の推進【51】
- ・中山間地域での総合診療医の養成【53】
- ・看護職員の確保対策の推進【54】
- ・薬剤師確保対策の推進【55】

(3) 介護等が必要になっても地域で暮らし続けられる仕組みづくり

- ・地域ニーズに応じた介護サービス提供の体制づくり【56】
- ・障害の特性等に応じた切れ目のないサービス提供体制の整備【57】
- ・医療的ケアの必要な子ども等とその家族への支援の強化【58】

(4) 各サービス間の連携強化

- ・高知版地域包括ケアシステム構築の推進体制の強化【59】

III 厳しい環境にある子どもたちへの支援

(1) 子どもたちへの支援策の抜本強化

- ・就学前教育の充実、学校をプラットフォームとした支援策の充実・強化【62】
- ・「子ども食堂」への支援【63】
- ・高知家の子ども見守りプランの推進【64】
- ・社会的養護の充実【67】

(2) 保護者等への支援策の抜本強化

- ・ひとり親家庭への支援の充実【67】
- ・保護者の子育て力の向上【68】
- ・妊娠期から子育て期までの切れ目のない総合的支援「高知版ネウボラ」の全体像【69】

- ・「高知版ネウボラ」の推進 ～地域における保健と福祉の連携と見守り体制の充実・強化～【70】

(3) 児童虐待防止対策の推進

- ・児童相談所の相談支援体制の強化【71】
- ・市町村の要保護児童対策地域協議会への積極的な支援【71】

IV 少子化対策の抜本強化

(1) ライフステージの各段階に応じた取り組みのさらなる推進

- ・出会いの機会の創出【74】
- ・切れ目のない子育て支援の推進【75】
- ・母体管理の徹底と切れ目のない妊産婦ケアの充実【76】
- ・健やかな子どもの成長・発達への支援【77】
- ・「高知版ネウボラ」の推進 ～子育て家庭の不安の解消/働きながら子育てできる環境づくり～【78】
- ・育児休暇・育児休業の取得等の促進【79】
- ・ワーク・ライフ・バランスの推進【80】

(2) 官民協働による少子化対策を県民運動として展開

- ・官民協働による少子化対策を県民運動として展開【81】

V 医療や介護などのサービス提供を担う人材の安定確保と産業化

- ・人材の定着促進・離職防止対策の充実【84】
- ・新たな人材の参入促進策の充実【84】
- ・人材確保の好循環の強化に向けた取り組みの推進【85】

5 関連する施策

- (1) 中山間対策の加速化・強化の取り組み【88】

- (2) 第4期南海トラフ地震対策行動計画における主な取り組み(保健・医療・福祉分野)【89】

- 6 平成31年度末、37年度末の目指す姿と取り組みの指標【91】

- 7 第3期構想Ver.4の施策体系【96】

- 8 日本一の健康長寿県構想の関連計画 【98】